

親学推進協力企業制度

名古屋市では子どもにとって親はどうあるべきかを考え、
子どもとともに親として成長する楽しさなどについて学ぼうとすることを「**親学**」と呼んでいます。

子どもたちの健やかな成長を

企業から

応援してみませんか？

親学推進協力企業制度

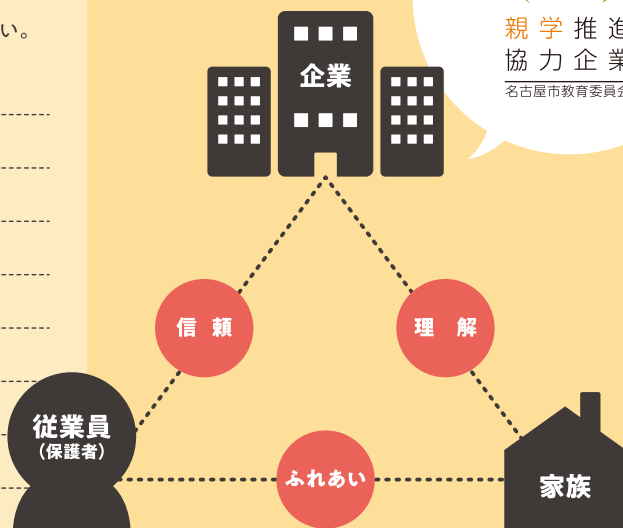
「親学」の推進に理解・協力をいただける企業(団体)の登録制度。

登録企業(団体)には、保護者である従業員が「親学」と向き合う機会を提供していただき、
教育委員会は講師派遣などの支援を行います。

アクションプラン8項目

下記の8項目のうち、2つ以上の取り組みを選んで登録してください。

- ① 親学を学ぼう！
- ② 親子で体験しよう！
- ③ 学校へ行こう！
- ④ 家族一緒に食事をしよう！
- ⑤ 子どもの記念日に本を贈ろう！
- ⑥ 地域の行事に親子で参加しよう！
- ⑦ 子どもに仕事を見せよう！
- ⑧ 企業からの独自提案



ご登録いただいた企業への支援

- 名古屋市のホームページに登録企業名を掲載するなど、各種媒体でご紹介します
- 登録企業が実施する家庭教育講座や講演会へ講師を無料で派遣します
- 家庭教育に資する事業を実施する場合に市内の各区生涯学習センターの優先確保及び使用料の減免を行います
- 観光・文化施設の優待割引券を配布します

お問い合わせ

名古屋市教育委員会生涯学習部生涯学習課

〒460-8508 愛知県名古屋市中区三の丸三丁目1番1号 TEL:052-972-3253 FAX: 052-972-4178

E-Mail: a3253@kyoiku.city.nagoya.lg.jp



制度について
詳しく知りたい方は
こちらから！

親学推進協力企業取り組み事例

いざ自社でも親学を取り入れようと思っても、具体的な取り組み方や成果がイメージしにくいという事業所も多いのではないのでしょうか。そこで、親学推進の取り組みを積極的に実施している企業の事例をご紹介します。インタビューしたのは、上下水道や環境設備など、主に水に関する事業を取り扱う荏原商事株式会社中部支社。その中部支社に勤務する山本支社長と矢山主査に、取り組みの概要や成果について伺いました。



中部支社長 **山本 和正**さん

子育て世代従業員の働く環境を考えたのが取り組みのはじまり

——まず、取り組みを始めたきっかけと、実際の取組内容について教えてください。

山本支社長(以下、敬称略) 当支社の約半数を占める「子育て世代」が安心して働ける環境について考えていたときに、名古屋市から親学推進協力企業制度の案内をいただきました。その理念に共感して、従業員が子どもや家族と過ごす時間をしっかり確保することが大切だと思い至り、取り組みを始めるきっかけになりました。

具体的には、育児短時間勤務の期間の延長、時間外労働の削減、有給休暇取得率アップに取り組んでいます。それから年に1度ずつ、子どもの職場見学会や親子参加のレクリエーション、親学講座を開いて、子どもたちに仕事のことを知ってもらったり、従業員自身が学ぶ機会を提供したりしています。

もちろん、従業員が業務から離れる時間が増えると、短期的には戦力ダウンになるし、負担が増えるのは事実です。それでも、従業員の理解と協力を得ながら続けてきて、今はそれ以上の効果が出ていると感じますよ。

取り組みの結果生まれたのは従業員同士のつながりや信頼感

——取り組みを通して得られた効果は、どんなものでしたか？

山本 支社全体が仕事と生活への調和を意識



社会システム部 主査 **矢山 善和**さん

するようになって、従業員同士も業務の合間などに家族の話をすることが増えましたね。お互いの家庭への理解も深まってきたように感じます。従業員の「親」としての一面を見る機会は私自身にとっても貴重ですし、やはりそういう部分から従業員たちへの信頼感は強くなりますね。

矢山主査(以下、敬称略) 私も子どもがいるので、会社として家族との時間について考えてもらえるのはありがたいですし、会社が子ども参加のイベントを始めたときにはすぐ興味が湧きました。そうしたイベントがあると、子どもと他の従業員も顔を合わせることになるので、その後も子どものことを気にかけてもらえるようになるのが嬉しいですね。

——ご家族の方からの反応はどうですか。

矢山 会社見学やレクリエーションは、学校では得られない経験ができる場ですし、子どもたちも楽しんでいますよ。うちは子どもが2人いるので、私が子どもを1人職場に連れてくることで、妻も子育ての負担が軽くなると喜んでくれます。

山本 社会インフラに関わる当社のような存在を知ってもらう機会はありませんし、こうした取り組みを通じてご家族からの理解を得られるのも大きいですね。

——「親学講座」についても聞かせてください。

山本 名古屋市が紹介してくれる講師を招いて、支社の従業員向けに講座を開くのが毎年の恒例になっています。これまでに食育、睡眠、アンガーマネジメントなど、様々なテーマで講座を開きました。

子育て世代はもちろん、それ以外の従業員も色々な気づきを得られますし、社員同士のコミュニケーションのきっかけにもなりますね。

従業員からの意見で改善しつつ継続していくことが重要

——最後に、これからの親学の取り組みについて、どのように考えていますか。

山本 全従業員が戦力となる当社にとって、ワーク・ライフ・バランスへの悩みを解消して業務に向き合う環境を整え、チームワークを向上させていくことは非常に大切です。だからこそ、今まで以上に従業員からの意見も取り入れながら、親学の取り組みをしっかり継続していきたいと考えています。



「親学講座」のテーマは、従業員へのアンケートをもとに決定。従業員の皆さんからも積極的に要望が出てきます。

「親学」の取り組みについて詳しくお聞きになりたい場合は、以下までお問い合わせください。



**荏原商事株式会社 中部支社
大高事務所**

〒459-8016
名古屋市緑区南大高3丁目14-01番地
TEL: 052(623)3211
FAX: 052(623)3310
HP: <http://www.ebasho.co.jp>